

生活支援体制整備事業
第3回 研究会報告

2018.3.20 13:30~15:30
福祉センター3階会議室にて



「地域の想いをつなぐ」

～これからの地域づくりの仕組みについて～

平成29年度最後の研究会には47名の皆さんが参加されました。「もし那珂川町に協議体があったら」をテーマに、グループワークの中で協議体の役割を体験しました。お互いの得意なことを活かして「こんなことしたい」「もっとこんなことができたらいいな」などたくさんの意見が出ました。

当日のスケジュール

1. 振り返り・説明

- ▶ アンケートの返答
- ▶ 協議体について



2. グループワーク

① 自己紹介

- ▶ 名前
- ▶ 活動していること
- ▶ 得意なこと



② 得意な事を活かす

- ▶ グループの一緒にやりたいこと
- ▶ 今はないけど必要なこと
- ▶ 今の活動が充実すること



③ 協議体の役割とは



これからの地域づくりは、住民が「自分達でなにかできることがないか」を考え、誰でも参加できる環境で、自分の得意な事を地域で活かし、互いに支え合うお互い様の関係づくりが必要になると気づきました。

まずはじめに、自己紹介をしてお互いの事を知ること、貴重な情報交換の時間になりました。立場や活動の分野もそれぞれであり、1人ひとりの得意なこともさまざまでした。団体としての活動や職務としてだけでなく、一人の住民として得意な事も紹介しました。

グループのメンバーの得意なことを活かして(組合せて)やってみたいこと、一緒にできそうなこと、今の活動をもっと充実させたいこと、これからの那珂川町に必要なことなど自由に意見交換をしました。



「こんな那珂川町(市)になったらいいな！」
「『わくわく』することができたらいいね！」
それが「協議体」になります！

アンケート紹介

協議体という形で話ができ、自分1人の考えではできない事も互いに助け合えば何かできるかもしれないと思った。(男性・介護事業所)

やれる事、やりたい事を考えていると、那珂川町(市)が良い街になりそうに思えてきた。(女性・ボランティア)

・実現できることを願う。まず、会うことが元気の素と思う。
・年齢の差があり、色々参考になった。
(シニアクラブ)

準備会案内



5月15日(火)

13:30~15:30

福祉センター3階

(西隈1-1-2)

要申込